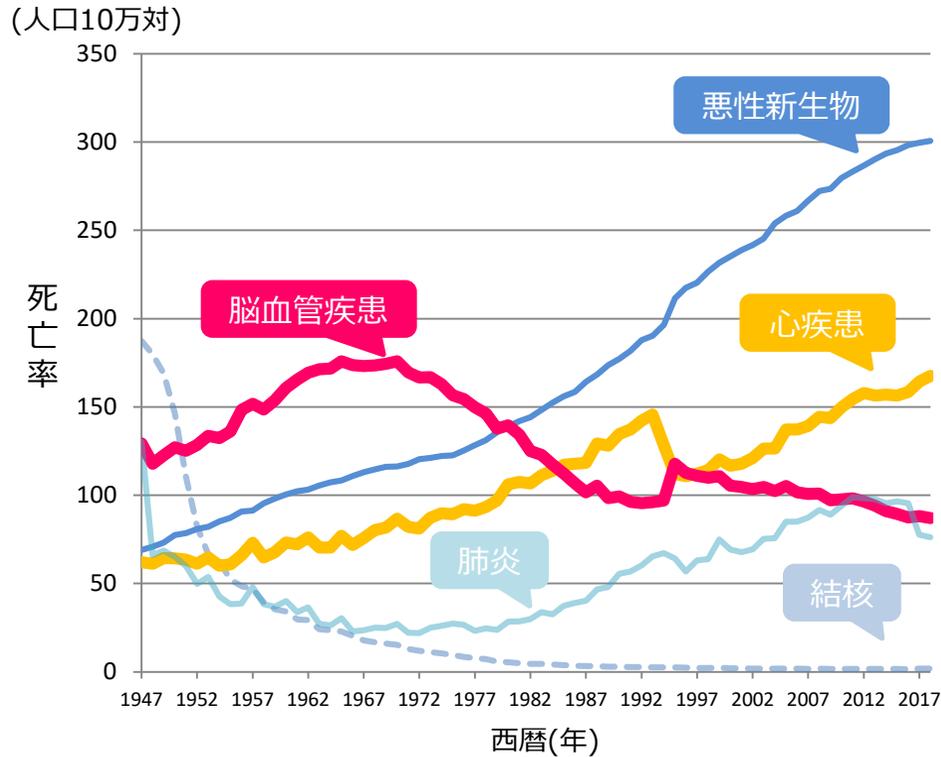


我が国の死亡原因における循環器病の割合

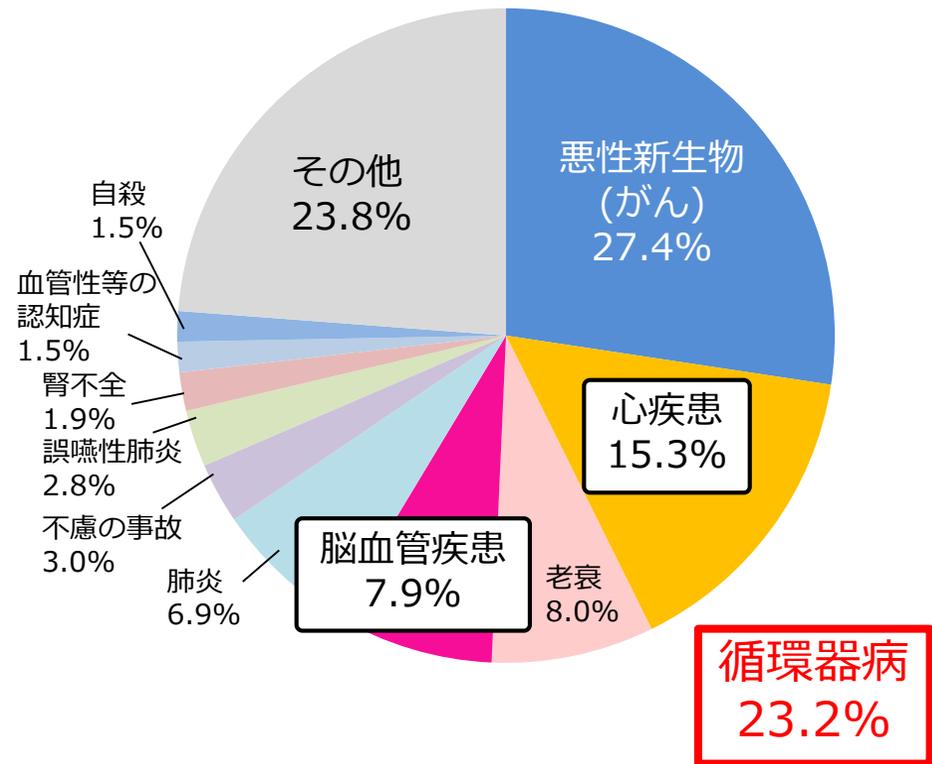
資料3

- 心疾患及び脳血管疾患は、我が国における主な死亡原因である。
- 2018(平成30)年の人口動態統計(確定数)によると、心疾患は死亡原因の第2位、脳血管疾患は第4位であり、両者を合わせた循環器病は、悪性新生物(がん)に次ぐ死亡原因である。

我が国における死亡率の推移(主な死因別)

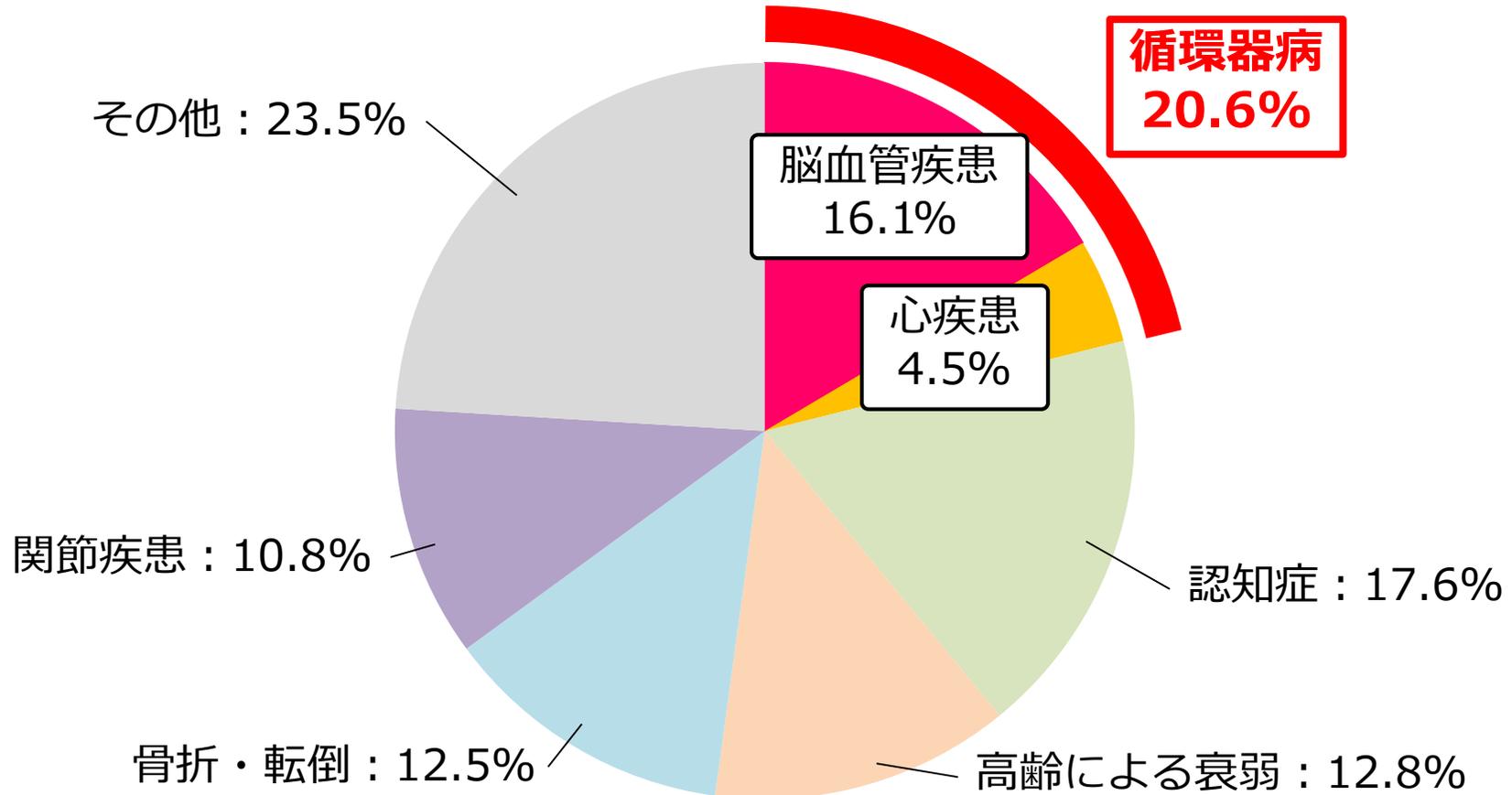


2018(平成30)年の死亡原因内訳(%)



我が国の介護が必要となった主な原因の構成割合

- 脳血管疾患が16.1%、心疾患が4.5%であり、両者を合わせた循環器病は20.6%と、介護が必要となった原因に占める割合は多い。



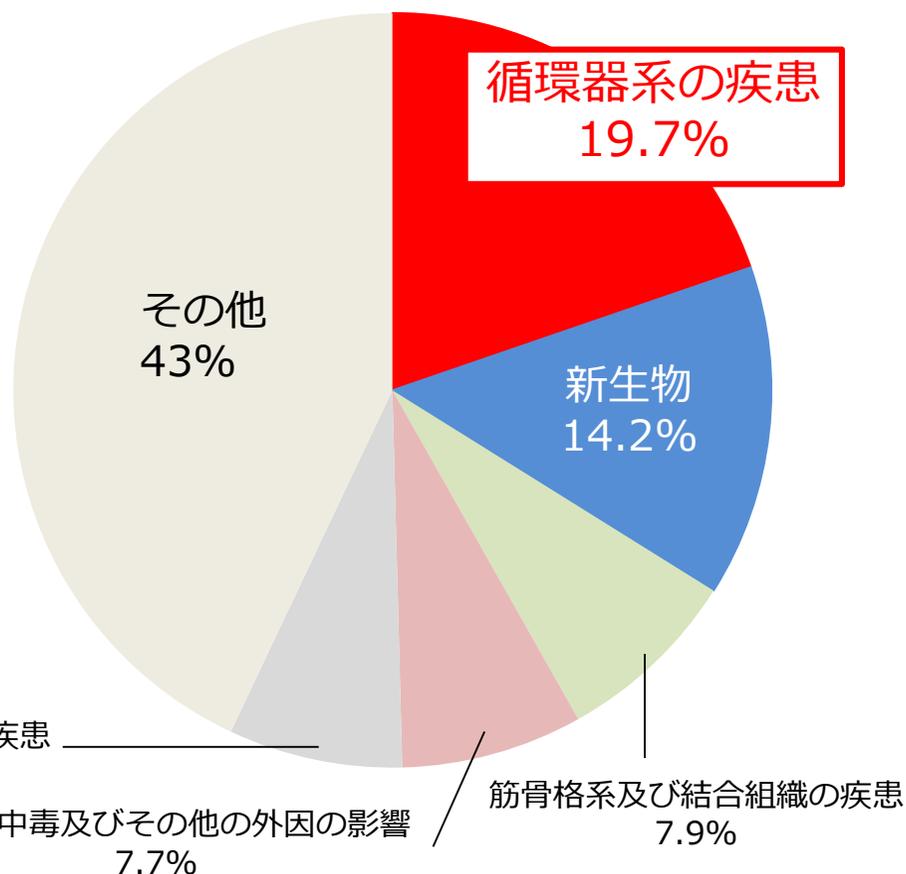
※要支援および要介護者に占める割合

<その他の内訳>	パーキンソン病	糖尿病	悪性新生物	脊髄損傷	呼吸器疾患
	2.3%	2.5%	2.6%	1.5%	2.7%
視覚・聴覚障害	その他	不明	不詳		
1.4%	9.1%	1.1%	2.4%		

我が国の傷病分類別医科診療医療費(上位5位)

- 平成29年度傷病分類別医科診療医療費は、30兆8335億円。
- そのうち、循環器系の疾患(循環器病)が占める割合は、6兆782億円(19.7%)と最多。

医科診療医療費の構成割合



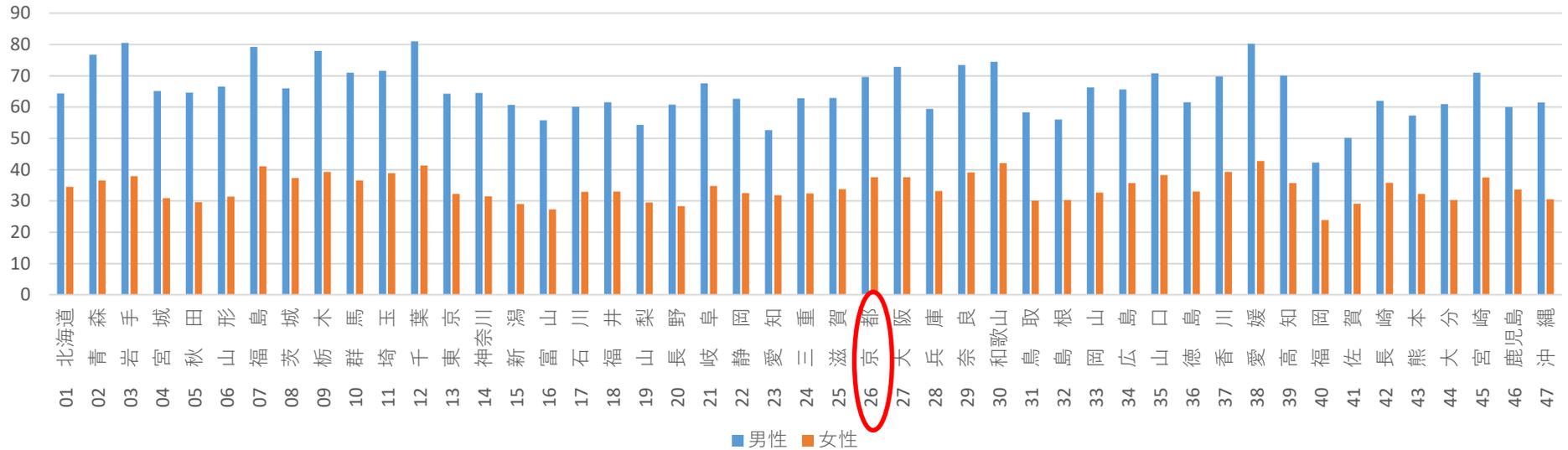
循環器系の疾患の医療費の内訳

疾患	医療費
循環器系の疾患	6兆782億円
高血圧性疾患	1兆7907億円
心疾患(高血圧性のものを除く)	2兆392億円
虚血性心疾患	7499億円
脳血管疾患	1兆8085億円
その他	4398億円

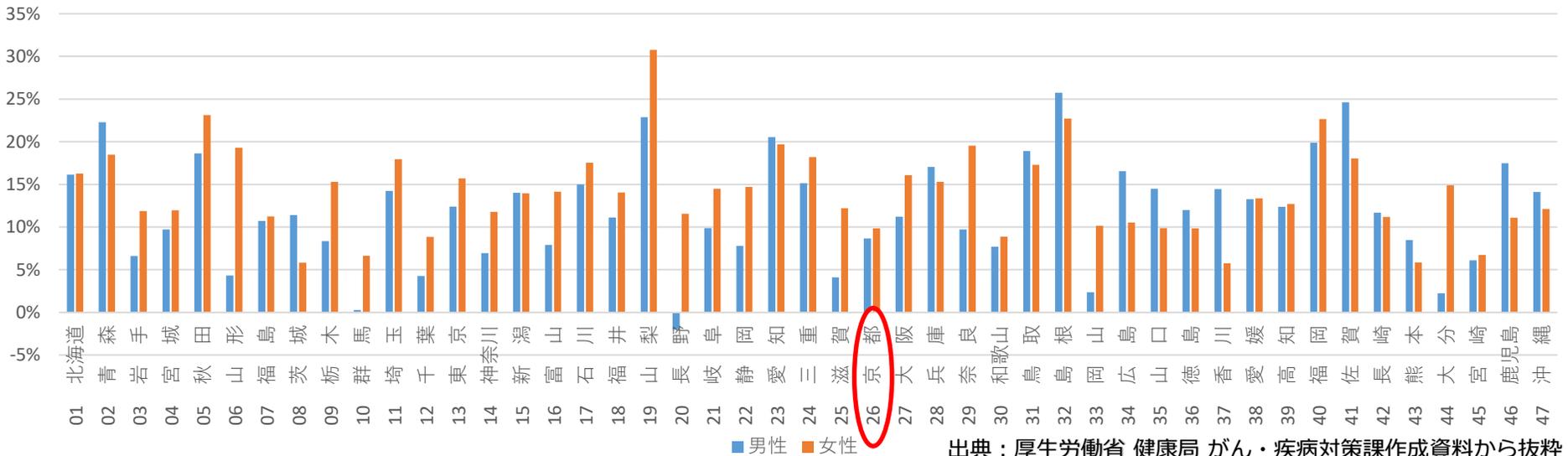
※傷病分類はICD-10 2013年版に準拠した分類による。

各都道府県における心疾患死亡率

2015年 心疾患 年齢調整死亡率



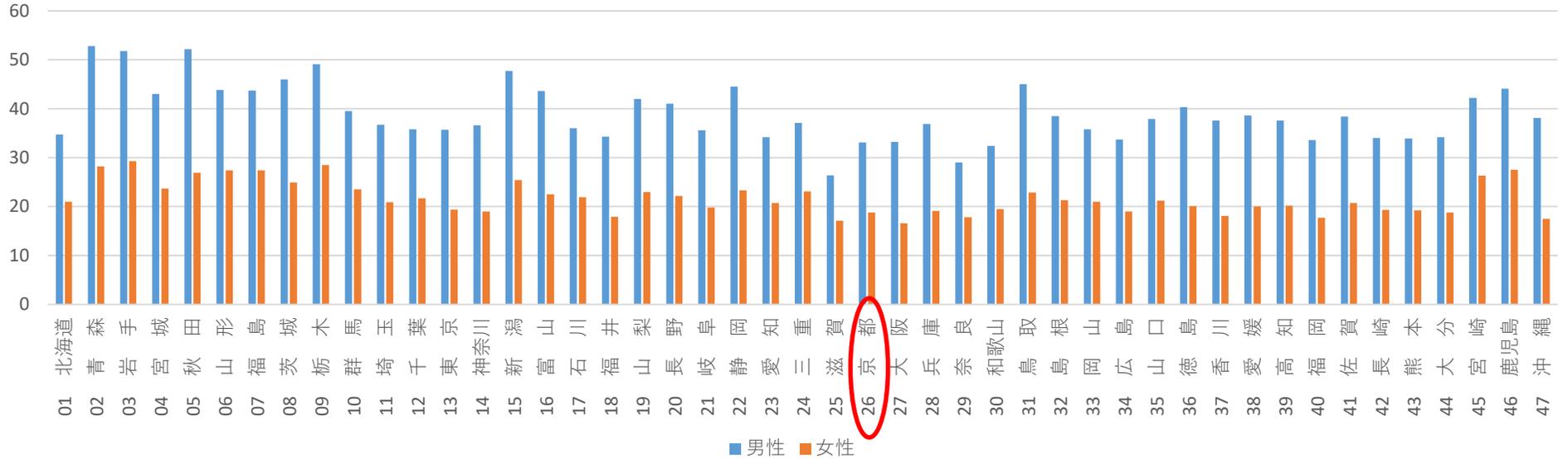
2010-2015年 心疾患 年齢調整死亡率改善率



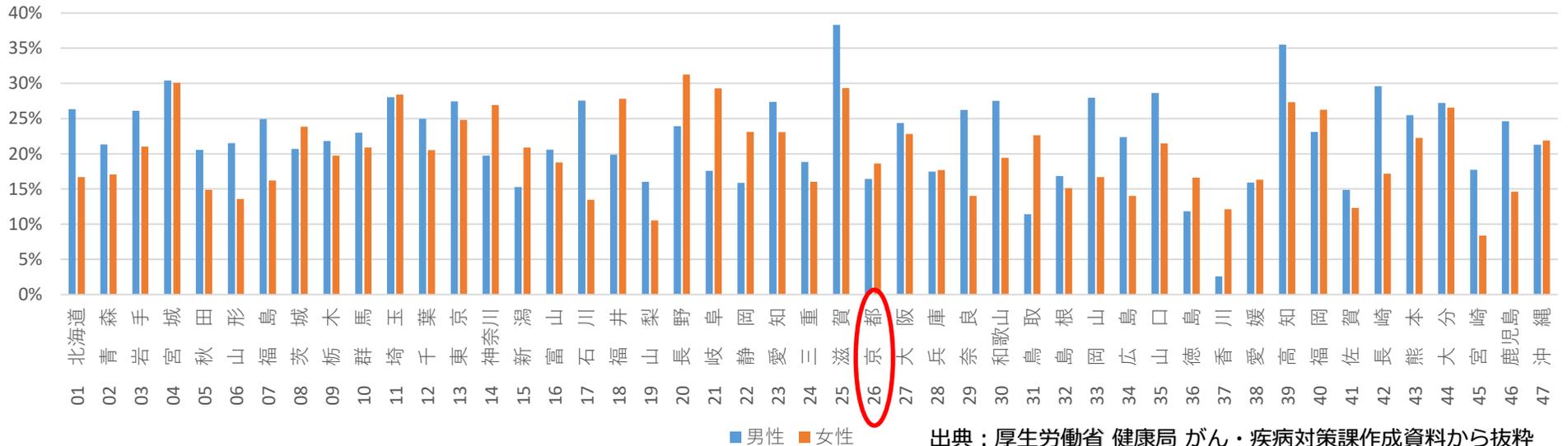
出典：厚生労働省 健康局 がん・疾病対策課作成資料から抜粋

各都道府県における脳血管疾患死亡率

2015年 脳血管疾患 年齢調整死亡率



2010-2015年 脳血管疾患 年齢調整死亡率改善率



出典：厚生労働省 健康局 がん・疾病対策課作成資料から抜粋

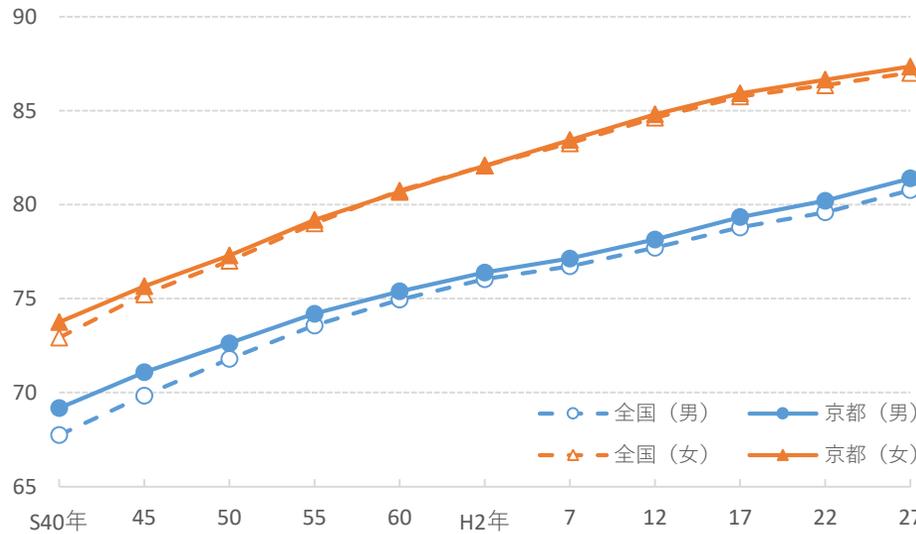
京都府の循環器病の現状

－ 京都府民の平均寿命と健康寿命 －

- 京都府の平均寿命は全国と同様に経時的に延伸しており、僅かではあるが全国より長い。
- 平成28年の本府の健康寿命は男性71.85年（降順28位）、女性73.97年（44位）である。
- 平均寿命と健康寿命の差（日常生活に制限を自覚している期間）は、本府において、男性9.55年（昇順44位）、女性13.38年（44位）と男女とも全国に比べて長い。

※出典：健康寿命は厚労科研「健康寿命及び地域格差の要因分析と健康増進対策の効果検証に関する研究 都道府県別健康寿命」（平成28年推定値）
平均寿命は厚労省「平成27年都道府県別生命表の概況 平均寿命の推移（図表データ）」

平均寿命（0歳平均余命）の推移



京都府と全国の男女別平均寿命・健康寿命

期間（年）	男性		女性	
	京都府	全国	京都府	全国
平均寿命	81.40	80.77	87.35	87.01
健康寿命	71.85	72.14	73.97	74.79
不健康な期間	9.55	8.63	13.38	12.22

※上表の平均寿命は平成27年データ、健康寿命は平成28年データを使用

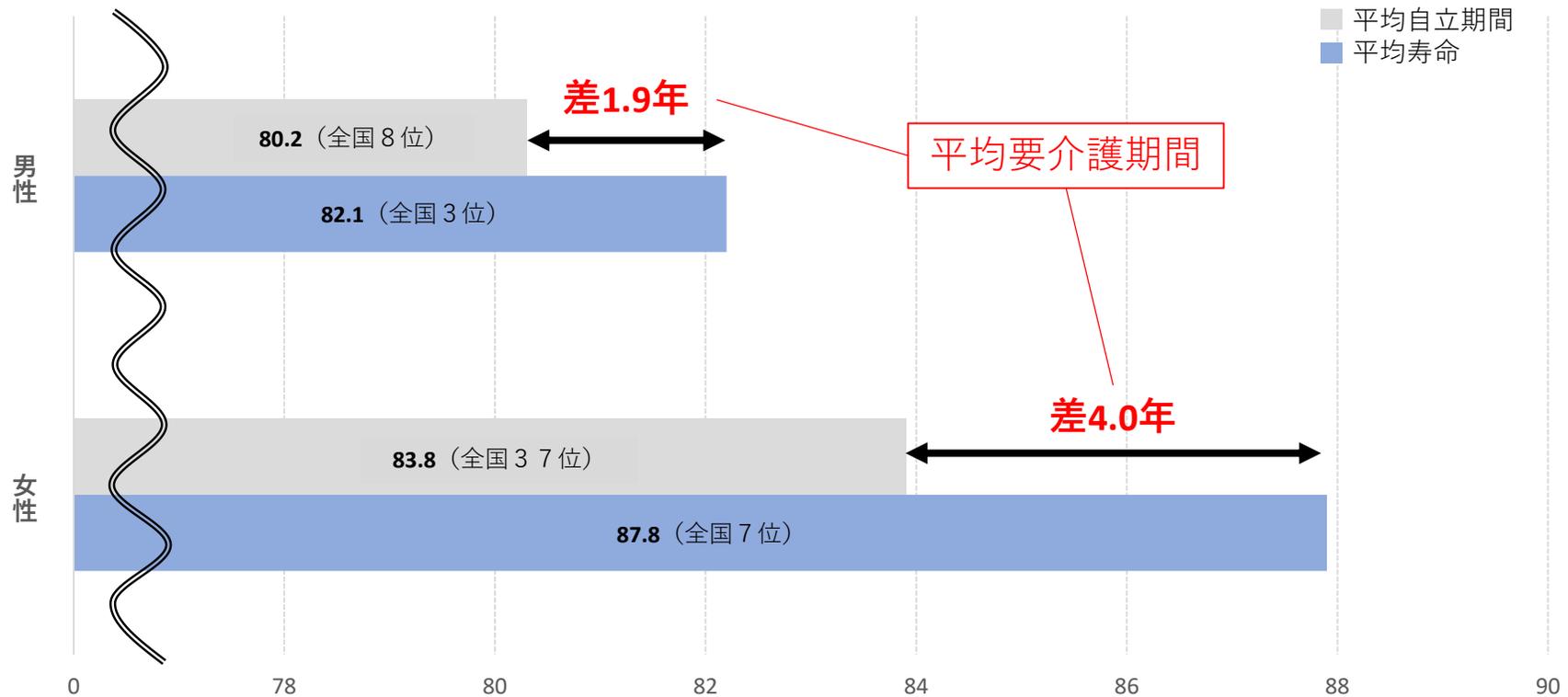
健康寿命：「国民生活基礎調査結果を根拠とした、自覚的に日常生活に制限のない期間の平均」
（熊本地震の影響により平成28年健康寿命データには熊本県が含まれておらず、全国順位は熊本県を除く46都道府県順位である）

京都府の循環器病の現状

－ 京都府民の平均寿命と平均自立期間 －

- 平成30年の京都府の平均自立期間は男性80.2年（降順8位）、女性83.8年（37位）に対して、平均寿命は男性82.1年（降順3位）、女性87.8年（7位）
- その差は男性1.9年（全国1.5年）、女性4.0年（全国3.3年）と男女とも全国に比べて長い。

※出典：国民健康保険中央会「平均自立期間・平均余命 都道府県別一覧（平成30年統計情報分）」（令和2年7月）

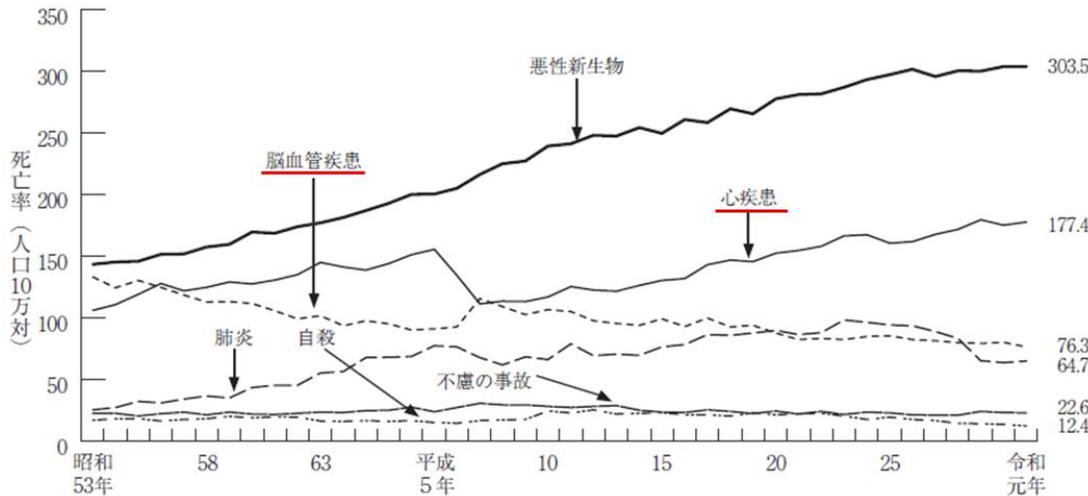


平均自立期間：「要介護1までを日常生活が自立しているとみなしたとき、0歳から何歳まで自立した生活が営めるか計算した期間（要介護2以上になるまでの期間）」

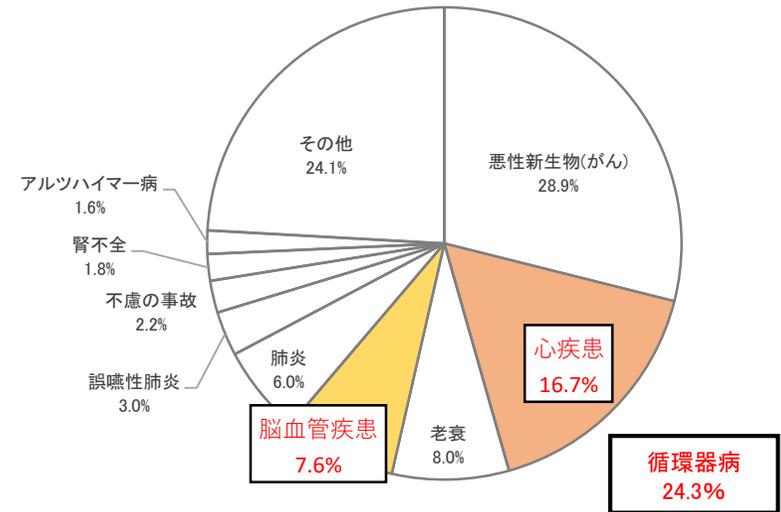
京都府の循環器病の現状 —主要な死亡原因—

- 京都府の2018（平成30）年の死亡原因内訳をみると、循環器系の疾患が全死亡原因の24.3%（全国23.2%）を占めている。
- 死因順位としては、心疾患が2位（16.7%（全国15.3%））、脳血管疾患が4位（7.6%（全国7.9%））である。

京都府における死亡率の推移(主な死因別)



京都府2018(平成30)年の死亡原因内訳(%)

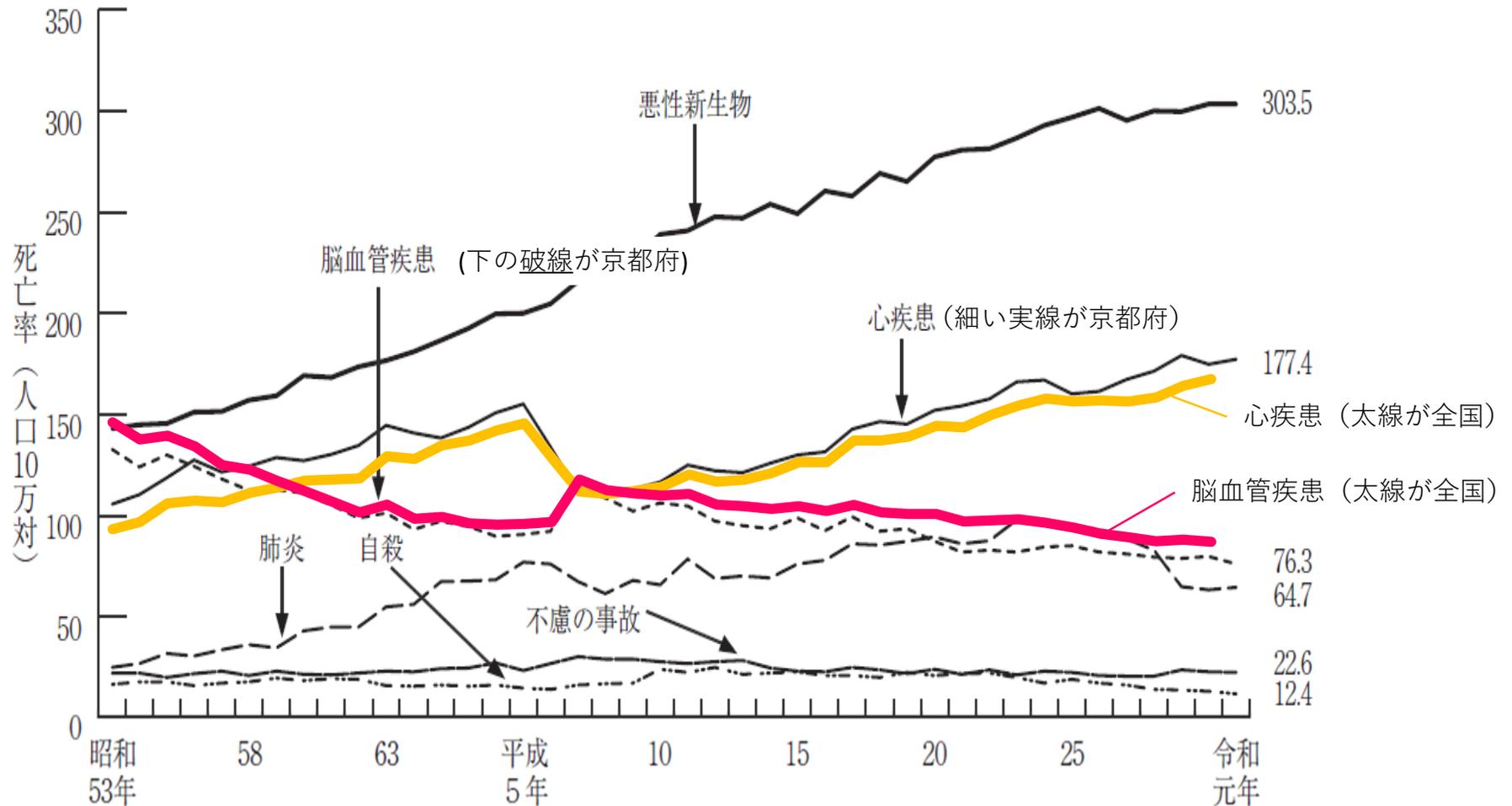


出典：令和元年京都府人口動態統計

京都府の循環器病の現状

— 主要死因別死亡率年次推移の全国との比較 —

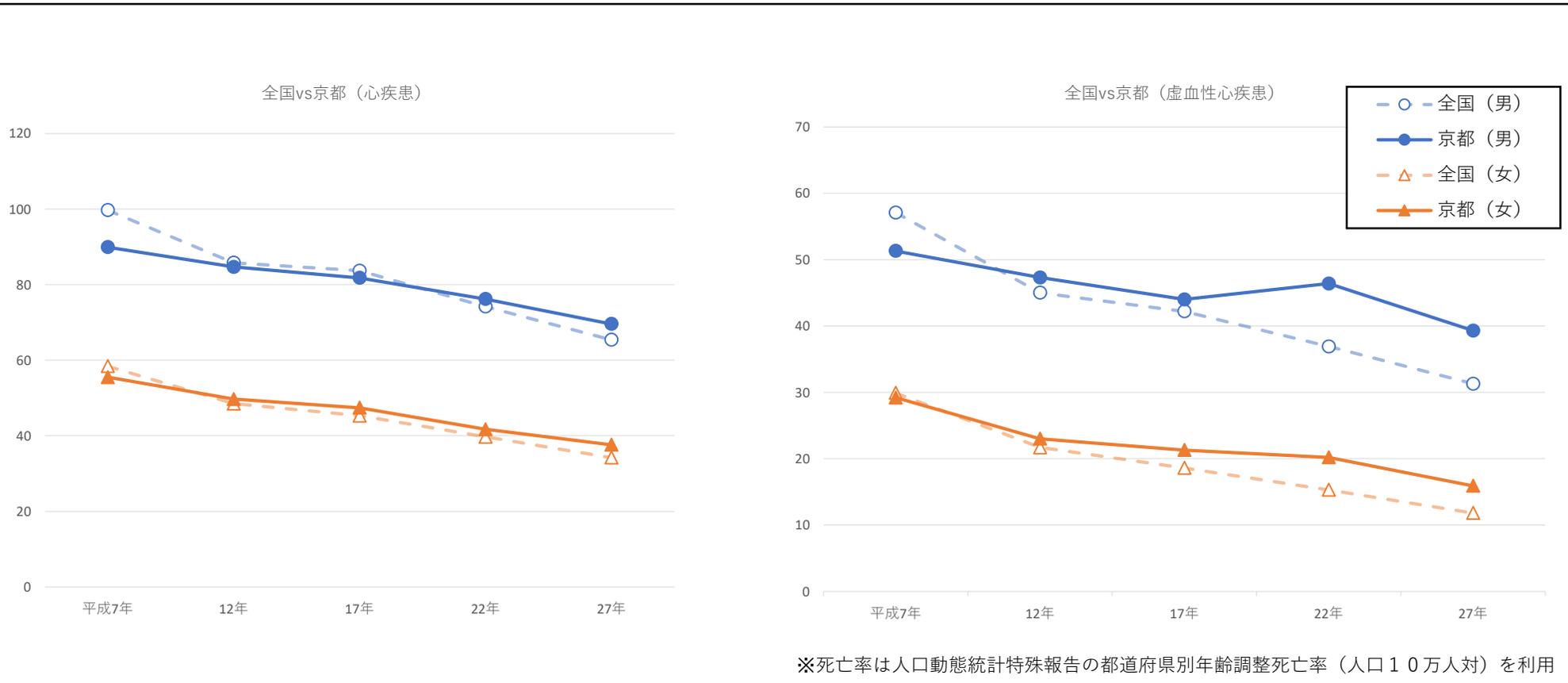
- 最近10年ほどの主要死因別死亡率は、心疾患については京都府>全国、脳血管疾患については京都府<全国という傾向がある。



※全国は平成30年まで、京都府は令和元年まで示している

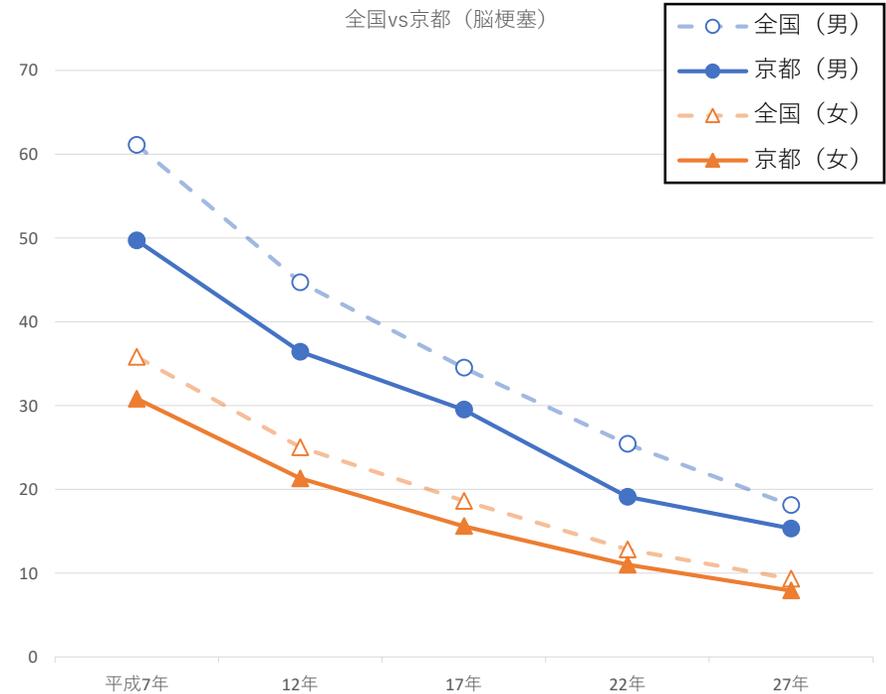
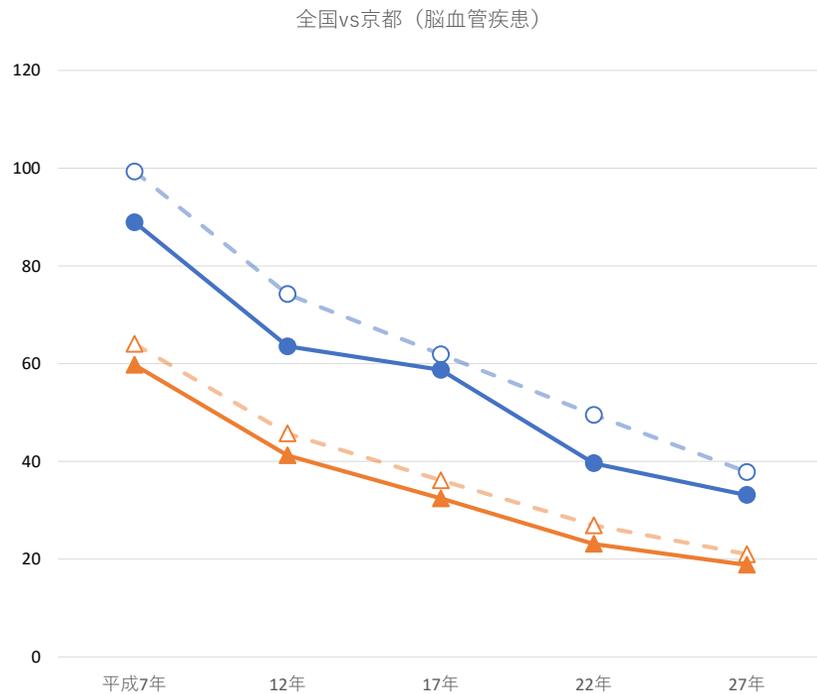
京都府の循環器病の現状 －年齢調整死亡率①－

- 京都府の心疾患の年齢調整死亡率は、全国と同様に男女とも緩やかに減少している。また、平成22年以降は全国に比べ男女とも高い。
- 心疾患のうち虚血性心疾患も同様の傾向である。



京都府の循環器病の現状 －年齢調整死亡率②－

- 京都府の脳血管疾患の年齢調整死亡率は、全国と同様に男女とも緩やかに減少している。また全国に比べ男女とも低い傾向がある。
- 脳血管疾患のうち脳梗塞も同様の傾向である。

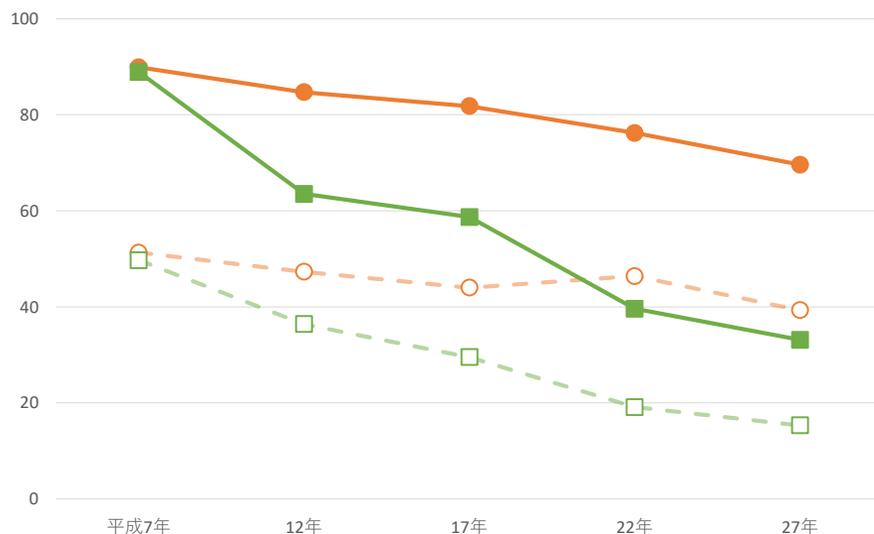


※死亡率は人口動態統計特殊報告の都道府県別年齢調整死亡率（人口10万人対）を利用

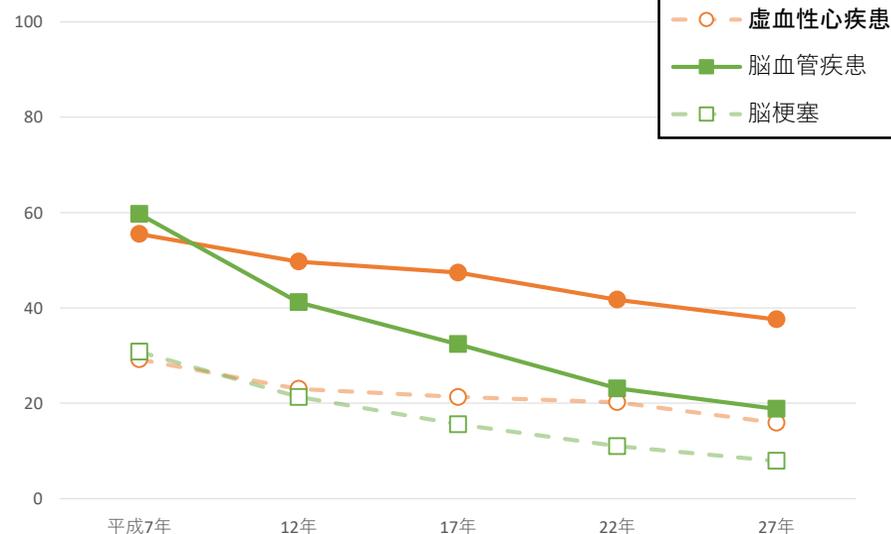
京都府の循環器病の現状 —年齢調整死亡率③—

- 京都府の循環器系の疾患（心疾患、脳血管疾患）の年齢調整死亡率は男女とも緩やかに減少。
- 心疾患のうち虚血性心疾患も緩やかに減少している。
- 脳血管疾患のうち脳梗塞も緩やかに減少している。

京都府（男性）



京都府（女性）



※死亡率は人口動態統計特殊報告の都道府県別年齢調整死亡率（人口10万人対）を利用